

## 〈実践発表〉

### ② コミュニティ・スクールの導入を図る取組事例

## 岩手県・八幡平市

# 「地域とともにある学校」づくり推進プラン

八幡平市教育委員会

教育指導課長 高畑 嗣人

社会教育指導員 小野 公代

八幡平市立安代小学校

校長

小山田 孝



## 八幡平市の概要



平成17年、西根町、松尾村、安代町が合併して誕生。

人口：約26,000人

面積：862km<sup>2</sup>

交通網：東北自動車道

八戸自動車道

国道282号

JR花輪線

市の将来像

農(みのり)と輝(ひかり)の大地

～とともに暮らし、しあわせを感じる八幡平市～



# 八幡平市の現状

## (1) 学校教育指導の重点から

- 目標達成型の学校経営
- 地域の特性に応じた教育
- 地域に根ざしたキャリア教育

## (2) 新学習指導要領への対応から

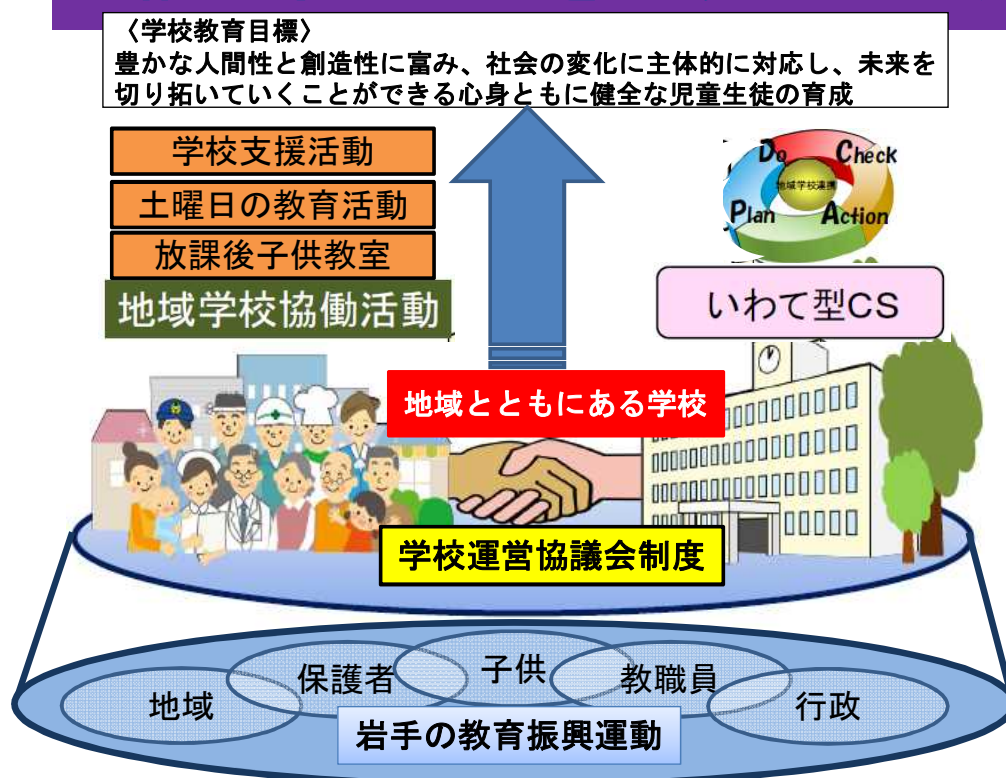
- 学校、保護者、地域、教育委員会が連携して「社会に開かれた教育課程」を実現するための理想とする形を、「コミュニティ・スクール」と捉えていること。

## (3) 本市の小・中学校の実態から

- 地域との連携について、地域間の格差があること。
- 地域学校協働本部を立ち上げている学校がないこと。
- 学校評議員制度は取り入れているが、学校評価は「自己評価」のみである学校が多いこと。

## 八幡平市「地域とともにある学校」づくり推進プラン

### 八幡平市の次代を担う人づくり



## 本年度から、文科省「コミュニティ・スクール導入等促進事業」を活用

- 事業の目的

本市全小・中学校でのコミュニティ・スクール導入にあたり、地域の実態が違う学校での導入実践から、地域のよさを生かした学校運営協議会の設置に向けた運営体制づくりの進め方を明らかにすること。

- 研究課題

下記研究校が取組んだ研究成果・課題を踏まえ、平成31年度に市内全校に対しコミュニティ・スクールを導入する。

- 八幡平市立安代小学校・寄木小学校
- 

## 本年度から、文科省「コミュニティ・スクール導入等促進事業」を活用

- 各研究校テーマ

- 八幡平市立安代小学校

「『地域学校協働活動』の推進」

～パートナーとしての地域と学校を目指して～

- 八幡平市立寄木小学校

「地域とともに学び、たくましく育つ子供の育成」

～保護者・地域住民との連携・協働を通して～



## 八幡平市立安代小学校 コミュニティ・スクール導入事業構想



八幡平市立安代小学校  
校長 小山田 孝

## 八幡平市立安代小学校について

- 岩手県八幡平市北部に位置
- 15年前に5校を統合して開校
- 安代地区はリンドウの生産日本一
- 冬季スポーツが盛ん(学区の一部に安比高原スキー場)
- 全校児童数87名(平成29年度)  
平成27年度:101名 平成28年度:91名
- 開校当初より「教育パートナー」制度

## コミュニティ・スクール導入の経緯 (地域の実態)

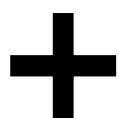
- 豪雪地域による共助の心構え
  - リンドウ生産日本一への実績  
(向上心 協力 忍耐 誇り 郷土愛)
  - 学校支援ボランティア体制「教育パートナー」  
の存在
- 

## コミュニティ・スクール導入の経緯 (学校の願い)

- 学力向上(学習支援 ゲストティーチャー  
外部講師)
- 体力向上(スキー大会等の補助 専門的  
指導)
- 徳力向上(あいさつ いじめ対策 道徳科  
ゲストティーチャー)

# コミュニティ・スクール導入の経緯

- 地域の「心構え」「実績」「体制」



- 学校の「学力」「体力」「徳力」向上の願い



## コミュニティ・スクールの導入

---

### 安代小学校「教育パートナー」とは？

#### ■メンバー、人数

- ・平成27～28年度 約20名（9割が保護者）

#### ■活動内容

- ・算数科における習熟学習の丸付け  
（学期末各学級1時間ずつ）
- ・放課後教室「たけのこ教室」での丸付け  
（主に算数学習）
- ・そろばん学習のゲストティーチャー

# コミュニティ・スクールが目指す 「教育パートナー」

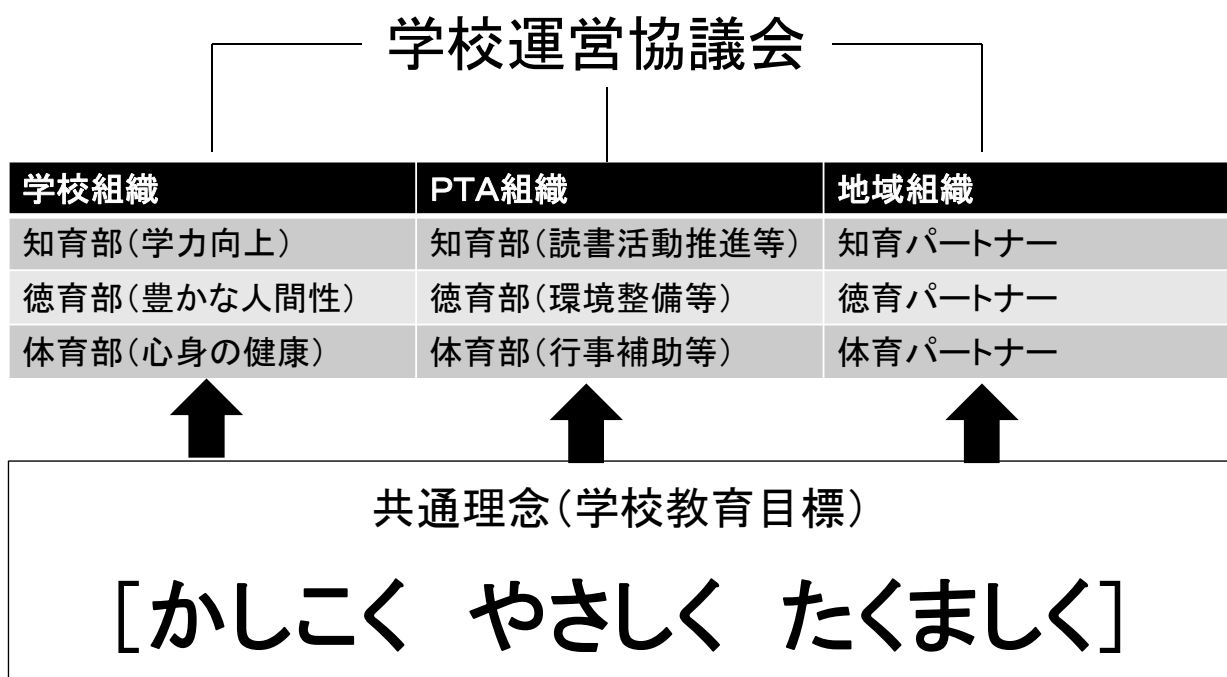
## □メンバー・組織

- ・保護者と地域の方々による構成とする
- ・「知・徳・体」にグループ化し、特技等を生かした支援をお願いする

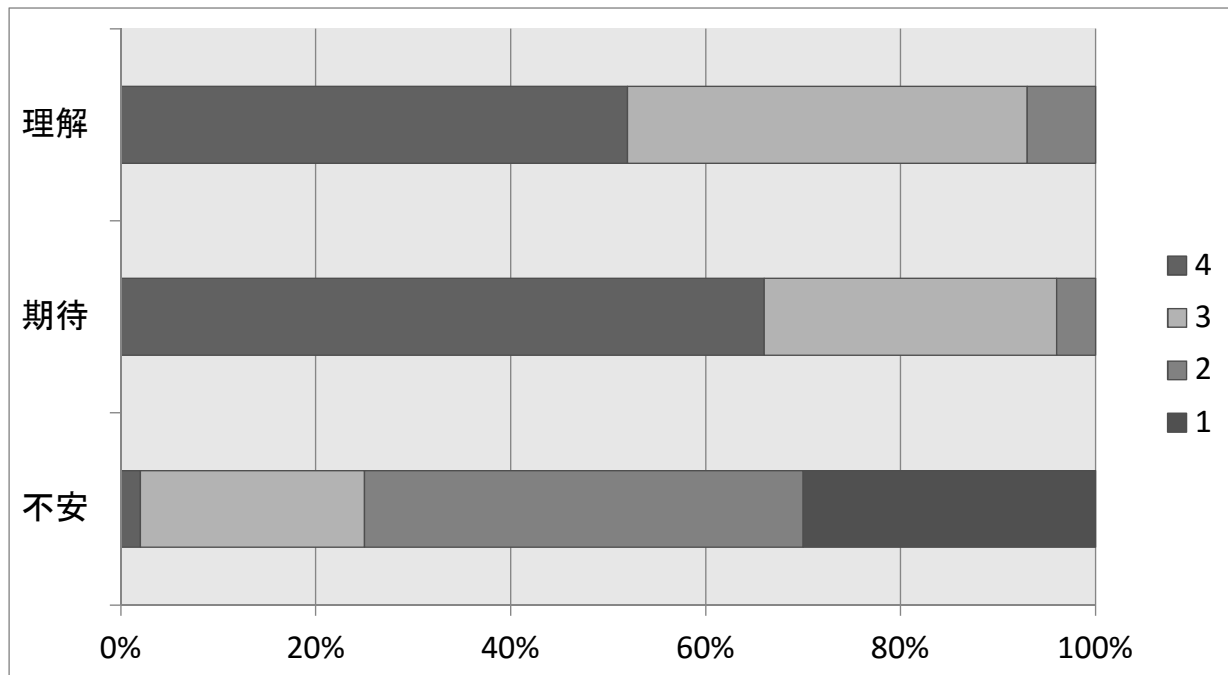
## □活動内容

- ・「知育」「徳育」「体育」に関する学習活動を支援する

## コミュニティ・スクール組織



# コミュニティ・スクールアンケート結果



## アンケート結果(主な記述内容)

### 期待

- ◎ 人間力向上、地域の活性化
- ◎ 地域の活性化を通じた相互理解
- ◎ これまでの取組をそのまま活用
- ◎ 地域の方が得意分野で先生となることで、子供たちの力が伸びる

### 不安

- 子供目線で大人が行動すること
- 地域による取組の差
- 共通認識をもてる環境作り
- プライバシーの保護、事務負担



## アンケート結果(主な記述内容)

### □ 目指す子供の姿

- ・強くたくましい子
- ・視野の広い子
- ・他人を思いやる子
- ・自信をもって生きていける子
- ・正直でまっすぐな子
- ・安代に戻ってできることを考えてくれる子
- ・地域の方とふれあえる子
- ・素直にありがとうと言える子
- ・元気にあいさつができる子
- ・何事にもチャレンジできる子
- ・いろいろ選択肢を見出して生きていける子
- ・のびのび育てほしい
- ・積極性、社会性のある子
- ・地域のありがたみを感じられる子
- ・心のしなやかさをもって生き抜く子
- ・自他を尊重して関わり合って社会を作れる子

---

## アンケート結果(主な記述内容)

### ◆ 大人がとるべき行動

- ・どんな時でも子供の味方
- ・あいさつ運動
- ・多くの方とふれあう機会を作り、良さを見つける
- ・会話を多く
- ・安代の話をする(歴史、良さ、課題)
- ・保護者は進んで地域の行事に参加
- ・学校への理解と協力
- ・やってみせる
- ・ありがとうと言う
- ・ほめる
- ・挑戦させる
- ・見守り、対話し、考えさせ、信頼する
- ・コーディネーターの発掘
- ・チャンスを与える
- ・三者の共感し合える場の設定
- ・無理なく楽しく長くCSを続けていく
- ・大人同士の結び付きを見せる

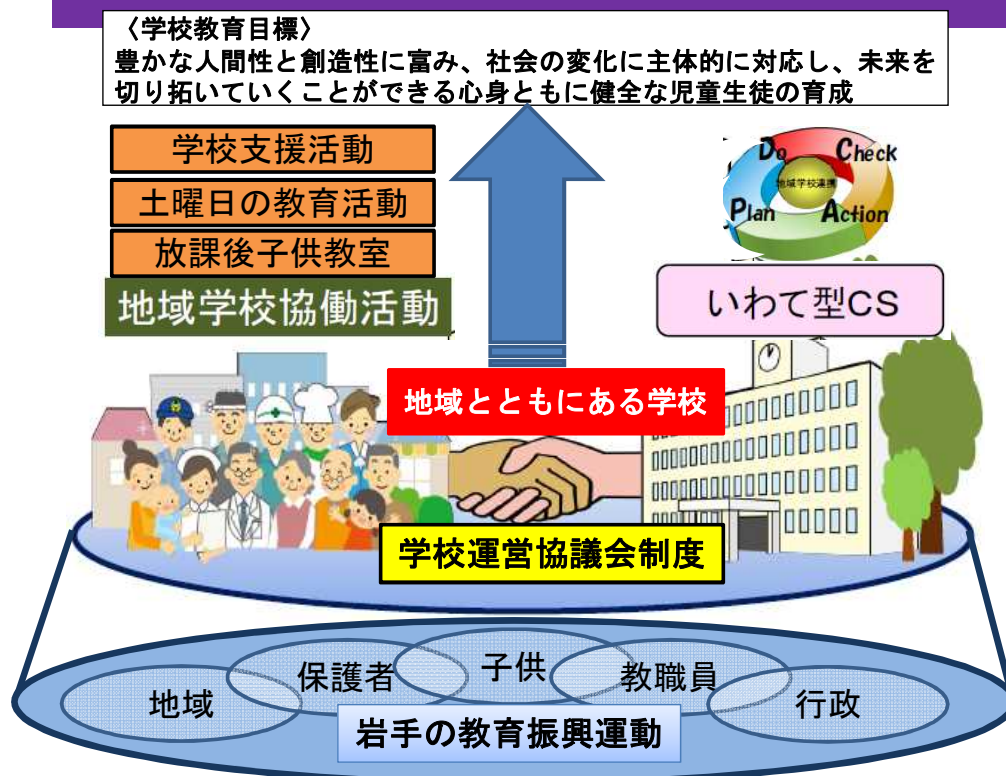
# 八幡平市「地域とともにある学校」づくり推進プランと本市「教育振興運動」とのかかわり

- 本市の教育振興運動は、八幡平市生涯学習推進計画「はちまんたい学びの郷プラン」(2009～2018)を基に、大きな成果を上げながら、八幡平市教育振興協議会が中心に推進している。
- 五者(地域、家庭、子供、学校、行政)の取組のうち、学校と行政が中心となって進める取組が、八幡平市「地域とともにある学校」づくり推進プランであり、保護者・地域住民が、これまで以上に学校経営に参画できる仕組みとして、「学校運営協議会制度」を導入する。

教育振興運動の基盤の上に、「地域とともにある学校」を確立し、「八幡平市の次代を担う人づくり」を目指す。

## 八幡平市「地域とともにある学校」づくり推進プラン

### 八幡平市の次代を担う人づくり



# 成果と課題

- 本市のこれまでの取組を整理し、「**地域とともにある学校**」づくりに向けた戦略を明確にして、それぞれの立場からのアプローチを開始することができたこと。特に、教育振興運動とのかかわりを明確にし、これまでの取組が生きる方向で、両者を位置づけることができたこと。
  - 研究校とは別に、すでに、「**地域とともにある学校**」づくりを検討している学校が数校あり、全市小中学校に、広がりが見られていること。
  - 地域の実態に応じた推進のプログラム作成と学校の負担の軽減を図ること。
-